

## 環境への貢献を主なコンセプトに

— 各種フィルターをはじめ4つのテーマで環境にアプローチ —

ブース番号 B1504

アンビック(株) 商品開発部 総括マネージャー 植原 盛樹

当社は2000年4月に「日本フェルト工業(株)」から社名を変更した。社名の「アンビック」は、ラテン語で環境を意味する“ambitus”と“technology”(英)を合成したもので、当社ビジネスが地球環境へ貢献していくことを期して命名した。今回出展のコンセプトも“Ambitus Technology”「地球環境をつなげる架け橋」とした。

### 環境を軸に4つの出展テーマ

#### ①環境浄化

当社はフィルター・バグ用濾材のパイオニアとして早くから環境浄化に取り組み、時代を先取りしたさまざまな濾材で業界をリードしてきた。“ADMIREX™”は、素材、製造方法ともに新しい技術を採用し、フィルターバクに要求される特性を究極まで追及した画期的な濾材である。焼却炉や鉄鋼分野を中心にその性能は絶賛されており、急速に需要が拡大している。

エアフィルターの分野でも積極的に商品を展開している。金星製紙と共同開発した“エアロダイナミック フィルター”は、合繊エアレイド不織布による世界初のエアフィルターである。エアレイド製法が可能にした滑らかな密度勾配構造により従来に比べ低圧損、ロングライフを実現した。

またクリーンな原材料と製造環境で製造されるためVOCなどの発生がない環境に優しいフィルターでもある。現在空調用フィルター、自動

車用フィルターの分野へ積極的に用途を拡大している。

“テクノフェロン”は独自のエレクトレット化により超低圧損、高効率を実現させたフィルターで、マスク分野、空気清浄機分野、家電用フィルターで確固たる地位を築いている。

以上に加え、超高性能フィルターや、脱臭、抗菌、抗アレルギー、抗ウイルスなど付加価値のある高機能フィルターの開発も進めている。

#### ②快適空間

当社は不織布の保温・断熱性、吸音性を活かした商品を数多く開発し快適な空間づくりに貢献している。とくに生活空間や、車輦空間での静音化ニーズが高まるなか、独自の複合技術や加工技術を駆使し高性能吸音材の開発を行っている。

また不愉快な振動や音を防止する緩衝材として幅広くご使用いただいている“ヒメロン®”は、ハロゲン化合物、ホルムアルデヒドを一切含まないクリーンな商品に生まれ変わり、RoHS規制やVOC規制にも適応し、用途は一層拡大している。

さらに近年ブームとなっている癒しにおいても、これら効果を持つ不織布を寝具、日用雑貨の分野に商品展開している。

#### ③クリーンエネルギー

近年急速に技術

が高まり、次々と実用化が進む2次電池、燃料電池の分野では、高精度・高性能不織布へのニーズも急速に高まっている。これらへの対応はもちろん、新たな問題となりつつある音、熱、廃水の処置、流入エアのクリーン化など周辺課題解決についても当社は積極的に商品開発に取り組んでいる。

#### ④リサイクル・環境保護

PETボトルを始めとしたさまざまな再生繊維やポリ乳酸を主成分とした生分解繊維などを、従来から積極的に新商品設計に採り入れ地球環境保護に貢献している。また自然荒廃防止や、地山崩壊防止のための吸水・保水シートによる壁面緑化や屋上緑化にも積極的に取り組んでいる。

### 人にやさしく、自然にやさしいウール

当社は1917年設立以来、ウールを原料として取り扱ってきた。天然素材であるウールは、環境破壊や汚染することなく産み出され、使用後は土にもどるため、人にやさしく、自然にやさしい繊維である。

われわれはこれを主にプレスフェルトにすることでさまざまな用途展開を図ってきた。今や、コストや部分的機能に勝る合繊不織布に変わりつつあるが、今後さらなる環境貢献を目指す企業として、初心を忘れないためにもプレスフェルトも参考出品する。

